

# コロナ禍の由布院観光に関する一考察： 2022年度長崎県立大学学術研究会研究支援事業成果報告書<sup>※)</sup>

竹 田 英 司  
神 田 珠 華<sup>※※)</sup>  
植 松 もも子<sup>※※)</sup>

## 概要

なぜコロナ禍でも由布院に観光者が訪れるのか。本研究の目的は、コロナ禍（主に2022年）における由布院観光者の特性を検証することであった。2022年現在、由布院では、COVID-19拡大前（2019年）から日本人の新規観光者と宿泊者の比率が上昇した。COVID-19収束後（2023年以降）、由布院でも観光者数が回復していけば、COVID-19拡大前（2019年）の水準まで、宿泊者が減っていく（日帰り者が増えていく）であろう。そうなれば、コロナ禍（2022年現在）で増額した1人あたり消費額4,720円（2019年比130%）もCOVID-19拡大前（2019年）と同額まで減額する。

COVID-19収束後（2023年以降）、由布院が観光で稼ぐためには、観光者数の回復や増数を目指すのではなく、「心が豊かになる」体験や「心が豊かになる」地域住民とのふれ合いによって、1人あたり観光消費額を増額していかなければならないと結論づける。

**キーワード：**コロナ禍（2022年）／1人あたり観光消費額／フードツーリズム／由布院

## 目 次

1. 大分県由布市の概況
  - 1.1. 由布市の人口と高齢化率
  - 1.2. 由布市の産業構造
  - 1.3. 研究の目的
  - 1.4. 研究の対象
2. 先行研究の整理
  - 2.1. COVID-19拡大前（2019年以前）の由布院観光に関する先行研究
  - 2.2. 由布院のフードツーリズムに関する先行研究

※ 本研究は、2022年度長崎県立大学学術研究会研究支援事業による成果の一部である。

※※ 2023年度長崎県立大学地域創造学部4年生。

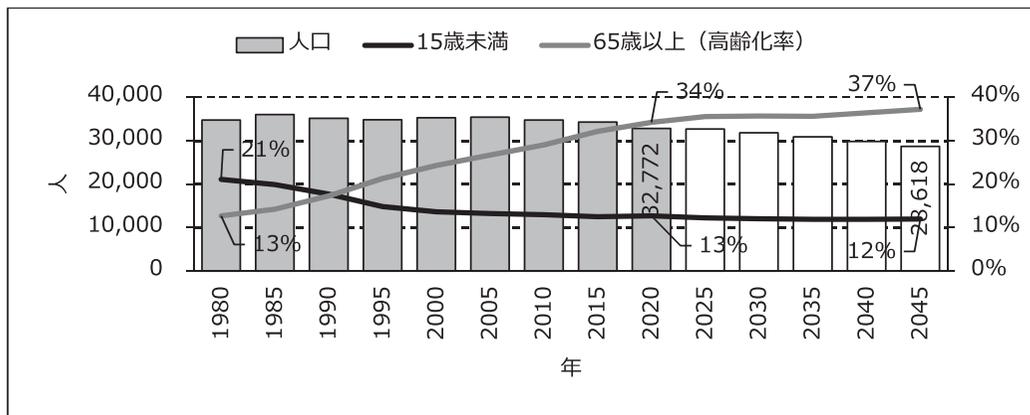
- 3. 学術的問いと検証方法
  - 4. 検証結果
    - 4.1. COVID-19拡大期（2020年～2022年）における由布院の観光者数や観光消費額は、どれくらい減少していたのか
    - 4.2. COVID-19拡大期（主に2022年）における由布院の観光者にはどのような特性があるのか
  - 5. 考察：どのように由布院観光での1人あたり観光消費額を増やしていくか
    - 5.1. 体験つき宿泊プランの提供
    - 5.2. ゆふいん温泉マップの提供
  - 6. 結論
- 参考文献

## 1. 大分県由布市の概況

### 1.1. 由布市の人口と高齢化率

由布市（2024年1月1日人口32,296人）は、大分県のほぼ中央に位置している（人口は大分県企画振興部統計調査課2024・2頁より）。由布市に隣接しているのは、大分市（人口472,229人）や別府市（人口112,954人）など、大分県の6市町村である。由布市は、旧湯布院町・旧挾間町・旧庄内町が、2005年10月1日に合併して誕生した（平成の大合併）。このうち旧湯布院町は、旧由布院町と旧湯平村が1955年2月1日に合併して誕生している（昭和の大合併）。このような経緯から、由布市

図1 由布市の人口（左）と高齢化率（右）



注：2025年以降の人口は、内閣府まち・ひと・しごと創生本部による推計である。  
 出所：内閣府まち・ひと・しごと創生本部事務局（2015）からデータ収集し作成。

は、由布市総合政策課（2024）によれば、3地区（①湯布院地区・②庄内地区・③挾間地区）に分類できる。

5年に1度の国勢調査によれば、由布市の人口は、図1左目盛りに示されたとおり、1980年34,708人から1985年35,945人まで微増傾向にあったが、1985年から2020年現在32,772人まで減少傾向にある<sup>1)</sup>。由布市の人口は、2020年以降も減り続けて、2045年には28,618人になると予測されている。

65歳以上が人口に占める高齢化率は、図1右目盛りに示されたとおり、1980年13%から上昇し続け、1985年には14%に達しているので、由布市（平成の大合併以前・3町の計）は1985年から高齢化率14%以上の高齢社会にあった。1985年以降も、由布市（平成の大合併以前・3町の計）の高齢化率は上昇し続けていて、1995年には21%まで達しているので、由布市（平成の大合併以前・3町の計）は1995年から高齢化率21%以上の超高齢社会に変わっている。2020年現在、由布市の高齢化率は34%であり、2045年には37%まで達すると予測されている。他方、15歳未満が人口に占める比率は、図1右目盛りに示されたとおり、1980年21%から下降し続け2020年現在13%、2045年には12%まで落ち込むと予想されている。

1995年に65歳以上の比率と15歳未満の比率が逆転しているので、由布市（平成の大合併以前・3町の計）は1995年から少子高齢化社会にある。

## 1.2. 由布市の産業構造

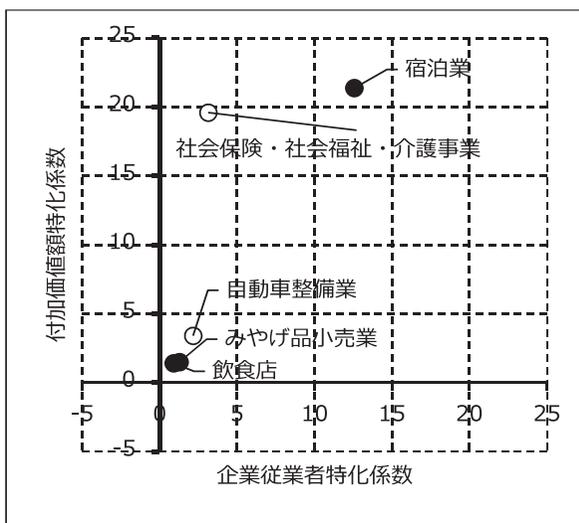
農林漁業・地場産業・観光業など、地域における特化産業のなかで、地域の「外」の消費者や、地域の「外」を市場としている特化産業が、地域の稼ぐ力（地域の移出産業）である。由布市の企業従業者特化係数をx軸、付加価値額特化係数をy軸にとり、第1象限に位置するなかでも、xとyの正の値が最も大きい産業（最も右上に位置する産業）が地域最大の特化産業である。

由布市における地域最大の特化産業は、2016年現在、図2に示されたとおり、宿泊業（12.6, 21.4）である。ただし、由布市の宿泊業は、 $y=x$ の線上から上方に位置しているため、付加価値額に対する企業従業者数が低い。由布市において、宿泊業以外の観光に関連する「宿泊・飲食サービス業」は、特化産業の上位3種に入っていないものの、飲食店（0.9, 1.4）、持ち帰り配達飲食サービス業（0.2, 0.1）が第1象限、みやげ品小売業（1.3, 1.5）も第1象限にある（みやげ品小売業は「宿泊・飲食サービス業」に含まれない）。

1) 平成の大合併（2005年）以前は、旧湯布院町・旧挾間町・旧庄内町の合計である。本研究では、平成の大合併（2005年）以前も、便宜上、由布市と表記している。

2016年現在、由布市の観光に関連する「宿泊・飲食サービス業」では、企業従業員特化係数と付加価値額特化係数が1を超えている宿泊業（12.6, 21.4）が由布市の大きな稼ぐ力（地域の移出産業）、みやげ品小売業（1.3, 1.5）が由布市の小さな稼ぐ力（地域の移出産業）の1つである。

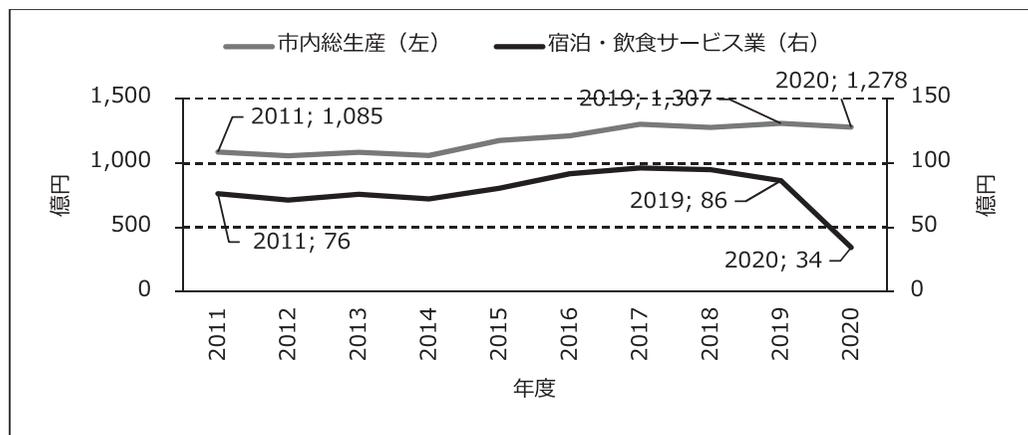
図2 由布市の特化産業上位3種と観光関連業（2016年）



注：企業従業員特化係数が高い、鉱業・採石業・砂利採取業（6.0, \*）、電気機械器具製造業（4.7, \*）、農業（3.0, \*）、水産養殖業（2.5, \*）、林業（2.1, \*）は、付加価値額特化係数が秘匿のため、図1に図示できなかった。

出所：内閣府まち・ひと・しごと創生本部（2015）からデータ収集し作成。

図3 由布市の市内総生産額



出所：大分県企画振興部統計調査課（2023a）からデータ収集し作成。

由布市の観光に関連する「宿泊・飲食サービス業」の経済活動は、図3に示されたとおり、2014年度72億円から2017年度96億円まで増額したが、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）拡大前の2019年度では86億円まで減額していた。コロナ禍（2020年度）の同経済活動は、34億円（2019年比40%）まで減額している。

その一方、由布市内総生産額は、COVID-19拡大前（2019年度）1,307億円からコロナ禍（2020年度）1,278億円（2019年度比98%）まで微減であった<sup>2)</sup>。

コロナ禍で、2020年現在、由布市「宿泊・飲食サービス業」の落ち込みが著しい。

### 1.3. 研究の目的

なぜコロナ禍（COVID-19 pandemic；2020年～2022年）でも旧由布院町（湯の坪街道周辺、以下、「由布院」とよぶ）に観光者が訪れるのか。本研究の目的は、コロナ禍（主に2022年）における由布院観光者の特性を検証することである。コロナ禍における観光者の特性がつかめれば、由布院観光の将来を考える一助になろう。

### 1.4. 研究の対象

地域研究や観光研究の事例対象として取りあげられる、由布（または由布市）、湯布院（または旧湯布院町）、由布院（または旧由布院町）は、湯の坪街道周辺の旧由布院町をさすことが多い。旧由布院町（湯の坪街道周辺）は、JR由布院駅から金鱗湖へ向かうまでの街道とその周辺であり、みやげ店やランチ店などの路面店と温泉旅館が集積している。

旧由布院町を含む旧湯布院町は、1970年代前半まで奥別府とよばれていて、中谷健太郎氏（株式会社亀の井別荘・由布市湯布院町川上2633-1）、溝口薫平氏（株式会社玉の湯・由布市湯布院町川上2731-1）、志手康二氏（有限会社夢想園産業・由布市湯布院町川南1248・故人）らを中心に、保養温泉地化と由布院温泉のブランド化がすすめられた。

本研究では、旧由布院町（湯の坪街道周辺）を含む旧湯布院町を「由布院」とし、研究の対象とする。

---

2) 「市町村内総生産とは、一定期間（通常1年間）に市町村内の生産活動によって、新たに生み出された価値（付加価値）の総額である。これは、産出額から中間投入額を差し引いたものである」（大分県統計調査課2023b・1頁）

## 2. 先行研究の整理

### 2.1. COVID-19拡大前（2019年以前）の由布院観光に関する先行研究

由布院には「純粋な『健康と保養の温泉地』というイメージが広く浸透し」（小堀2000・1頁）、「由布院温泉は、存在資源としての自然環境に恵まれている」（浦1997・2頁）。

由布院では、「近年400万人近い観光者（2002年）が訪れ、入湯者数約90万人（湯布院温泉と湯平温泉の計2002年度）、宿泊者数約95万人（2002年）にのぼる」（石川2007・84頁）。由布院の「観光者数は2008年のリーマンショック以降ほぼ横ばい状態から2016年～2017年にはピーク時の2007年の472万人比で20%～25%ほど減少したが、最近になって2018年には442万人と回復した」（鈴木ほか2020・3-4頁）。

「この40年間（1970年代後半から2010年代後半）、バブル期を境に国内の観光産業が大きな曲がり角を迎え、また観光地ライフサイクルの常<sup>つね</sup>として由布院温泉の気にも陰<sup>かげ</sup>りが出てきたと言われ続けていた。実際に2002年くらいから由布院温泉の宿泊客数も減少している」（大澤ほか2019・97-98頁・括弧内引用者加筆）。

### 2.2. 由布院のフードツーリズムに関する先行研究<sup>3)</sup>

近年、由布院では、「日本人の日帰り客と韓国、中国、台湾を中心とした外国人観光者の増加に伴い、これらの観光者をターゲットにした外部資本による小売業や飲食業の出店がまちの中心部、特に湯の坪街道では相次いだ」（綾部2021・14頁）。これら「近年相次いで建てられたお洒落なカフェ、アイスクリーム屋、その他の飲食店、みやげ品店などは、町並みの至るところにみられ、町歩き観光者の目を楽しませたり、少し休憩したりする場所として欠かせないポイントになっている」（前掲の小堀2000・31頁）。

由布院は「宿泊だけではなく、食事、買物、読書、散策を、自分の泊まっている旅館の枠を超えて楽しむことができる回遊性」（高田2008・13頁）が魅力である。「由布院温泉は由布岳や田園風景など、四季折々の景色を楽しむことができる農村型の温泉観光地であり、みやげ物屋などが立ち並ぶメインストリート・湯の坪街道から一歩外れると、水田が広がる日本の伝統的な農村風景に出くわす」（一色ほか2013・

3) 「フードツーリズム（Food Tourism）とは、その国や地域ならではの食文化である『地域の食』を楽しむことを主な旅行動機や主な旅行目的、主な活動とした旅行を指し、……中略……これら食文化にふれ、体験する旅行や考え方をフードツーリズムという」（安田2021・217頁）。由布院の食べ歩きは、フードツーリズム5種（同2021・218頁）のうち、庶民グルメツーリズムや食購買ツーリズムが該当しよう。

39頁)。

このように、由布観光における消費活動が、観光者によって多様化しているのは、由布院が「個人型観光に特化してきた」(米田2013・112頁)からであろう。

### 3. 学術的問いと検証方法

(1) COVID-19拡大期(2020年～2022年)における由布院の観光者数や観光消費額は、どれくらい減少していたのか

(2) COVID-19拡大期(主に2022年)における由布院の観光者にはどのような特性があるのか

先行研究を整理した上記の学術的問い(1)(2)について、次の①②の検証を行う。

① 2次データ(既存データ)から、由布市の観光者数・宿泊率・外国人観光者率・観光消費額・1人あたり観光消費額を検証する(検証1)。② 1次データ(アンケート調査の結果)から、COVID-19拡大期(主に2022年)における由布院観光者の年齢層・観光回数・行程・飲食率・宿泊率・1人あたり観光消費額・1人あたり飲食

図4 アンケート票と調査項目

湯の坪街道 観光調査 (長崎県立大学地域産業研究室)	
Q1 あなたの自身についてお聞かせください。	
性別	男性・女性
年齢	10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代+
居住地域	①大分県 ②福岡県 ③東京都 ④神奈川県 ⑤その他( )
同行人数	単人旅行 人
Q2 本日は、どなたと来られましたか。	
1.ひとり	2.夫婦のみ
3.家族(実親だけ以外)・親類	4.友人
5.観光客	6.仕事関係者(同僚・上司・取引先ほか)
7.その他( )	
Q3 今日、由布院地区で1人あたりいくら使いましたか(いくら使う予定ですか)。	
飲食費	入浴費
おみやげ費	自宅からの交通費
宿泊費	
1人あたり	1人あたり
円	円
Q4 由布院地区で、今日、行かれたところ・行く予定のところ、全てを〇で囲ってください。	
1.温泉街(湯の坪街道)	2.経路茶屋(湯の坪街道)
3.湯の坪の橋	4.湯の坪の橋
5.温泉街	6.温泉街
7.湯の坪の橋	8.温泉街
9.その他( )	
Q5 由布院地区へ来られた目的について、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.食・グルメ	2.温泉入浴
3.観光	4.湯の坪の橋
5.温泉街の購入	6.自然鑑賞
7.人との交流	8.ビジネス
9.温泉街などのイベント	10.買い物
11.その他( )	
Q6 今日来て、何冊由布院地区に来られたことがありませんか。1つだけ〇で囲ってください。	
1.はじめて	2.2回目
3.3~4回目	4.5回目以上
5.10回以上	6.温泉街のため歩数
Q7 由布院地区まで来られた主な交通機関について、1つだけ〇で囲ってください。	
1.自乗車	2.レンタカー
3.JR	4.バス/観光バス
5.タクシー	6.高速バス/酒田バス
7.徒歩・自転車	8.バイク
9.その他( )	
Q8 由布院地区以外で、今日、行かれたところ・行く予定のところ、全てを〇で囲ってください。	
1.杯に似	2.別府市
3.大分市	4.豊後高田市
5.日田市	6.湯前町
7.湯前町と大分県を除く九州他	8.その他( )
Q9 由布院地区を知らない私たち学生に、オスメのお話を教えてください。	
出布院地区でオスメのお話を聞いたことはいえ、	
Q10 湯の坪街道を知らない私たち学生に、オスメのお話を教えてください。	
湯の坪街道でオスメのお話を聞いたことはいえ、	
Q11 今日、由布院地区に滞在した時間・滞在する予定時間を教えてください。(例:2時間30分)	
およそ	時間 分 秒
Q12 今日、由布院地区へは日帰りですか、それとも宿泊(何泊)ですか。	
1.日帰り	2.宿泊(宿泊先: )
3.宿泊日数( )泊	日
Q13 今日あなたが由布院地区で宿泊した理由について、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.宿泊していない	2.湯があるから
3.温泉街があるから	4.料金が安いから
5.温泉があるから	6.温泉街に来ているから
7.その他( )	
Q14 今日あなたが由布院地区で宿泊しなかった理由について、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.遠かっている	2.日帰りです
3.目的地に着いていない	4.予算が合わなかった
5.子どもの遊ばせたいから	6.その他( )
Q15 あなたにとって、由布院地区にあればいいものを全て〇で囲ってください。	
1.温泉街	2.温泉街
3.温泉街	4.温泉街
5.温泉街	6.温泉街
7.温泉街	8.温泉街
9.温泉街	10.温泉街
11.温泉街	12.温泉街
13.温泉街	14.温泉街
15.温泉街	16.温泉街
17.温泉街	18.温泉街
19.温泉街	20.温泉街
21.温泉街	22.温泉街
23.温泉街	24.温泉街
25.温泉街	26.温泉街
27.温泉街	28.温泉街
29.温泉街	30.温泉街
31.温泉街	32.温泉街
33.温泉街	34.温泉街
35.温泉街	36.温泉街
37.温泉街	38.温泉街
39.温泉街	40.温泉街
41.温泉街	42.温泉街
43.温泉街	44.温泉街
45.温泉街	46.温泉街
47.温泉街	48.温泉街
49.温泉街	50.温泉街
51.温泉街	52.温泉街
53.温泉街	54.温泉街
55.温泉街	56.温泉街
57.温泉街	58.温泉街
59.温泉街	60.温泉街
61.温泉街	62.温泉街
63.温泉街	64.温泉街
65.温泉街	66.温泉街
67.温泉街	68.温泉街
69.温泉街	70.温泉街
71.温泉街	72.温泉街
73.温泉街	74.温泉街
75.温泉街	76.温泉街
77.温泉街	78.温泉街
79.温泉街	80.温泉街
81.温泉街	82.温泉街
83.温泉街	84.温泉街
85.温泉街	86.温泉街
87.温泉街	88.温泉街
89.温泉街	90.温泉街
91.温泉街	92.温泉街
93.温泉街	94.温泉街
95.温泉街	96.温泉街
97.温泉街	98.温泉街
99.温泉街	100.温泉街
Q16 今日あなたが由布院地区で宿泊しなかった理由について、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.遠かっている	2.日帰りです
3.目的地に着いていない	4.予算が合わなかった
5.子どもの遊ばせたいから	6.その他( )
Q17 由布院地区へ来たきっかけについて、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.以前に来たことがあったので	2.友達から
3.インスタグラム	4.Facebook・ツイッター・YouTube
5.テレビ・ラジオ	6.雑誌・新聞・情報誌
7.口コミ	8.紹介
9.その他( )	
Q18 由布院地区の魅力について、全てはまるものを全て〇で囲ってください。	
1.湯の坪街道	2.湯の坪街道
3.湯の坪街道	4.湯の坪街道
5.湯の坪街道	6.湯の坪街道
7.湯の坪街道	8.湯の坪街道
9.湯の坪街道	10.湯の坪街道
11.湯の坪街道	12.湯の坪街道
13.湯の坪街道	14.湯の坪街道
15.湯の坪街道	16.湯の坪街道
17.湯の坪街道	18.湯の坪街道
19.湯の坪街道	20.湯の坪街道
21.湯の坪街道	22.湯の坪街道
23.湯の坪街道	24.湯の坪街道
25.湯の坪街道	26.湯の坪街道
27.湯の坪街道	28.湯の坪街道
29.湯の坪街道	30.湯の坪街道
31.湯の坪街道	32.湯の坪街道
33.湯の坪街道	34.湯の坪街道
35.湯の坪街道	36.湯の坪街道
37.湯の坪街道	38.湯の坪街道
39.湯の坪街道	40.湯の坪街道
41.湯の坪街道	42.湯の坪街道
43.湯の坪街道	44.湯の坪街道
45.湯の坪街道	46.湯の坪街道
47.湯の坪街道	48.湯の坪街道
49.湯の坪街道	50.湯の坪街道
51.湯の坪街道	52.湯の坪街道
53.湯の坪街道	54.湯の坪街道
55.湯の坪街道	56.湯の坪街道
57.湯の坪街道	58.湯の坪街道
59.湯の坪街道	60.湯の坪街道
61.湯の坪街道	62.湯の坪街道
63.湯の坪街道	64.湯の坪街道
65.湯の坪街道	66.湯の坪街道
67.湯の坪街道	68.湯の坪街道
69.湯の坪街道	70.湯の坪街道
71.湯の坪街道	72.湯の坪街道
73.湯の坪街道	74.湯の坪街道
75.湯の坪街道	76.湯の坪街道
77.湯の坪街道	78.湯の坪街道
79.湯の坪街道	80.湯の坪街道
81.湯の坪街道	82.湯の坪街道
83.湯の坪街道	84.湯の坪街道
85.湯の坪街道	86.湯の坪街道
87.湯の坪街道	88.湯の坪街道
89.湯の坪街道	90.湯の坪街道
91.湯の坪街道	92.湯の坪街道
93.湯の坪街道	94.湯の坪街道
95.湯の坪街道	96.湯の坪街道
97.湯の坪街道	98.湯の坪街道
99.湯の坪街道	100.湯の坪街道
Q19 由布院地区にまた来たいと思いますか。その理由を教えてください。	
1.リピートしたい	2.リピートしたいとは思わない
3.リピートしたい理由( )	
4.リピートしたい理由( )	
5.リピートしたい理由( )	
6.リピートしたい理由( )	
7.リピートしたい理由( )	
8.リピートしたい理由( )	
9.リピートしたい理由( )	
10.リピートしたい理由( )	
11.リピートしたい理由( )	
12.リピートしたい理由( )	
13.リピートしたい理由( )	
14.リピートしたい理由( )	
15.リピートしたい理由( )	
16.リピートしたい理由( )	
17.リピートしたい理由( )	
18.リピートしたい理由( )	
19.リピートしたい理由( )	
20.リピートしたい理由( )	
21.リピートしたい理由( )	
22.リピートしたい理由( )	
23.リピートしたい理由( )	
24.リピートしたい理由( )	
25.リピートしたい理由( )	
26.リピートしたい理由( )	
27.リピートしたい理由( )	
28.リピートしたい理由( )	
29.リピートしたい理由( )	
30.リピートしたい理由( )	
31.リピートしたい理由( )	
32.リピートしたい理由( )	
33.リピートしたい理由( )	
34.リピートしたい理由( )	
35.リピートしたい理由( )	
36.リピートしたい理由( )	
37.リピートしたい理由( )	
38.リピートしたい理由( )	
39.リピートしたい理由( )	
40.リピートしたい理由( )	
41.リピートしたい理由( )	
42.リピートしたい理由( )	
43.リピートしたい理由( )	
44.リピートしたい理由( )	
45.リピートしたい理由( )	
46.リピートしたい理由( )	
47.リピートしたい理由( )	
48.リピートしたい理由( )	
49.リピートしたい理由( )	
50.リピートしたい理由( )	
51.リピートしたい理由( )	
52.リピートしたい理由( )	
53.リピートしたい理由( )	
54.リピートしたい理由( )	
55.リピートしたい理由( )	
56.リピートしたい理由( )	
57.リピートしたい理由( )	
58.リピートしたい理由( )	
59.リピートしたい理由( )	
60.リピートしたい理由( )	
61.リピートしたい理由( )	
62.リピートしたい理由( )	
63.リピートしたい理由( )	
64.リピートしたい理由( )	
65.リピートしたい理由( )	
66.リピートしたい理由( )	
67.リピートしたい理由( )	
68.リピートしたい理由( )	
69.リピートしたい理由( )	
70.リピートしたい理由( )	
71.リピートしたい理由( )	
72.リピートしたい理由( )	
73.リピートしたい理由( )	
74.リピートしたい理由( )	
75.リピートしたい理由( )	
76.リピートしたい理由( )	
77.リピートしたい理由( )	
78.リピートしたい理由( )	
79.リピートしたい理由( )	
80.リピートしたい理由( )	
81.リピートしたい理由( )	
82.リピートしたい理由( )	
83.リピートしたい理由( )	
84.リピートしたい理由( )	
85.リピートしたい理由( )	
86.リピートしたい理由( )	
87.リピートしたい理由( )	
88.リピートしたい理由( )	
89.リピートしたい理由( )	
90.リピートしたい理由( )	
91.リピートしたい理由( )	
92.リピートしたい理由( )	
93.リピートしたい理由( )	
94.リピートしたい理由( )	
95.リピートしたい理由( )	
96.リピートしたい理由( )	
97.リピートしたい理由( )	
98.リピートしたい理由( )	
99.リピートしたい理由( )	
100.リピートしたい理由( )	

出所：筆者ら作成。

費・1人あたり宿泊費について検証する（検証2）<sup>4)</sup>。

そのうえで、どのように由布院観光での1人あたり観光消費額を増やしていくかについて検討する（考察）。

## 4. 検証結果

### 4.1. COVID-19拡大期（2020年～2022年）における由布院の観光者数や観光消費額は、どれくらい減少していたのか

由布市（人口32,296人）にはにっぽんの温泉100選で10位に選ばれた由布院温泉、別府市（人口112,954人）には同100選で4位に入選した別府八湯温泉があるので、由布市の状況について、別府市との比較から検証する。COVID-19拡大前（2019年）の観光者数は、由布市が441万人（2019年人口比134倍）、別府市が834万人（2019年人口比70倍）であった。

由布市の観光者数は、図5に示されたとおり、2005年442万人から2019年441万人まで横ばい傾向にあった（2005年以降の最盛期は2007年472万人）。しかし、COVID-19拡大の影響を受けた由布市の観光者数は、2022年現在332万人（COVID-19拡大前の2019年比75%）まで回復している。他方、別府市の観光者数は、2022年現在538万人（COVID-19拡大前の2019年比65%）まで回復している。

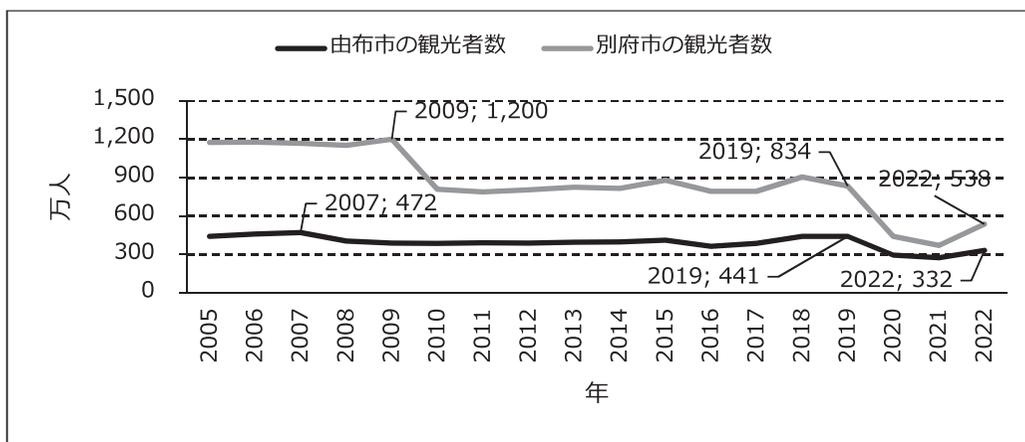
由布市の宿泊率は、表1に示されたとおり、COVID-19拡大前の2019年23%から2022年現在38%まで15ポイント上がっている。他方、別府市の宿泊率は、COVID-19拡大前の2019年29%から2022年現在36%まで7ポイント上がっている。

由布市の外国人観光者率は、COVID-19拡大前の2019年15%から2022年現在3%まで12ポイント下がっている。他方、別府市の外国人観光者率は、COVID-19拡大前の2019年11%から2022年現在1%まで10ポイント下がっている。別府市の2019年外国人観光者620,841人の内訳は、韓国39%・台湾16%・中国13%・香港12%・その他20%の順が多い（別府市観光産業部観光課2020・表2より）。なお、由布市の2019年外国人観光者675,645人の内訳は、由布市商工観光課（2020）に未公開であっ

4) 筆者らが実施したアンケート調査の概要は、以下のとおりである。

- ・調査対象（母集団）：2022年由布院の観光者332万人
- ・調査時期：2022年8月11日～2022年9月17日
- ・調査方法：アンケートによる標本調査
- ・調査場所：湯布院中央児童公園・JR由布院駅前・金鱗湖前
- ・調査数：1,023組2,565人
- ・調査項目（図4）：1人あたり消費額（飲食費・みやげ購入費・入浴費・交通費・宿泊費）ほか

図5 由布市と別府市の観光者数



注1：別府市では2010年から「観光入込客統計に関する共通基準」（国土交通省観光庁）を導入したため、2009年以前とデータが連結していない。

注2：図中の観光者は、地元・県内・県外の日帰り観光者と宿泊延者数の合計。

出所：由布市商工観光課（2006；2023）と別府市観光産業部観光課（2006；2023）からデータ収集し作成。

表1 由布市と別府市の宿泊率・外国人観光者率・観光消費額

由布市			
	宿泊率	外国人観光者率	観光消費額
コロナ前（2019年）	23%	15%	161億円
コロナ禍（2022年）	38%	3%	156億円
別府市			
	宿泊率	外国人観光者率	観光消費額
コロナ前（2019年）	29%	11%	946億円
コロナ禍（2022年）	36%	1%	635億円

出所：由布市商工観光課（2006；2023）と別府市観光産業部観光課（2006；2023）からデータ収集し作成。

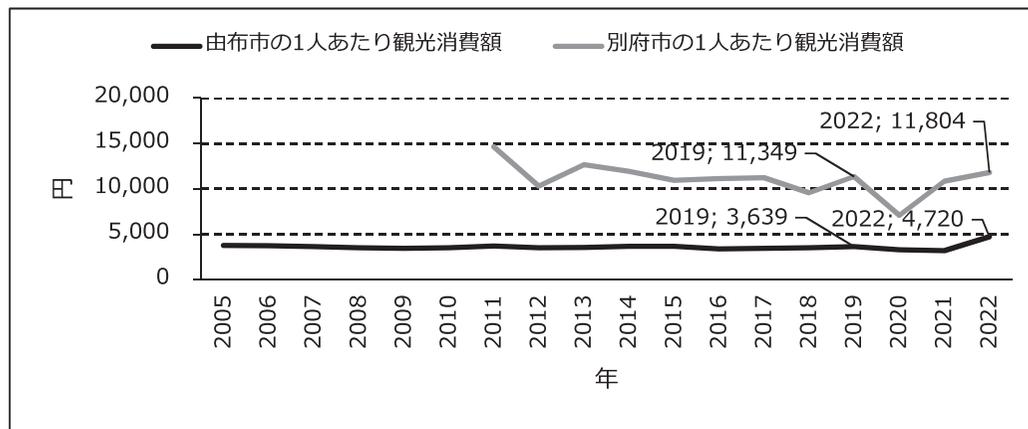
た。

由布市の観光消費額は、2022年現在156億円（COVID-19拡大前の2019年比97%）まで回復している（2005年以降の最盛期は2007年473億円）。他方、別府市の観光消費額は、2022年現在635億円（COVID-19拡大前の2019年比67%）まで回復している。

由布市の1人あたり観光消費額は、図6に示されたとおり、2005年3,786円から

2019年3,639円まで横ばい傾向にあった。COVID-19拡大のなか、由布市の1人あたり観光消費額は、2022年現在4,720円（COVID-19拡大前の2019年比130%）まで増額している。他方、別府市の1人あたり観光消費額は、2022年現在11,804円（COVID-19拡大前の2019年比104%）まで増額している。

図6 由布市と別府市の1人あたり観光消費額



注：別府市は2010年から「観光入込客統計に関する共通基準」（国土交通省観光庁）を導入したので、2010年以前の1人あたり観光消費額は非公表である。

出所：由布市商工観光課（2006；2023）と別府市観光産業部観光課（2006；2023）からデータ収集し作成。

小括すると、由布市の場合、COVID-19拡大前（2019年）と比べると、2022年現在、①観光者数332万人は2019年比75%まで回復、②宿泊率は38%まで上昇（2019年23%）、③外国人観光者率は3%まで下降（2019年15%）、④観光消費額156億円は2019年比97%まで回復、⑤1人あたり観光消費額4,720円は2019年比130%まで増額していた。

由布市と別府市では、由布市のほうが観光者数や観光消費額などの規模は小さい。しかし、2022年現在、別府市と比べて、由布市のほうがCOVID-19拡大前（2019年）から観光者数や観光消費額の回復率は高いことがわかった。

#### 4.2. COVID-19拡大期（主に2022年）における由布院の観光者にはどのような特性があるのか

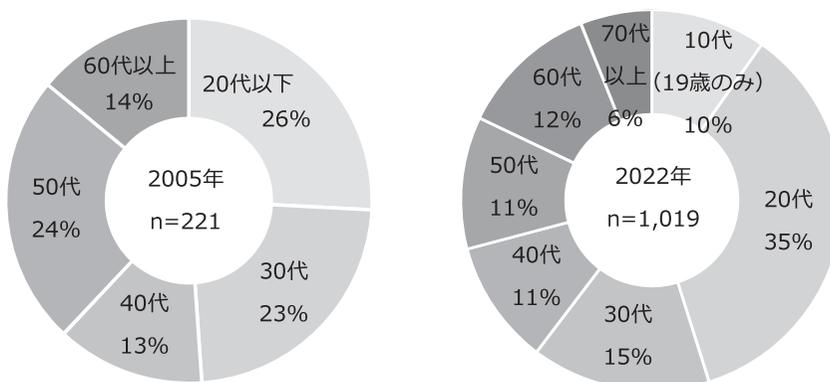
以下、筆者ら実施の2022年アンケート調査の結果にもとづく。由布院における①観光者の年齢層は、29歳以下が45%を占めている（図7右図）。由布院における②観光者のリピート率（「はじめて」以外の計）は、66%であった（図8）。由布院に

における③観光者のうち宿泊者は、51%に達していた（図9右図）。

由布院における④観光者の居住地は、福岡県32%（30%）・関東18%（9%）・福岡県と大分県を除いた九州16%（18%）・大分県15%（25%）の順で多い（括弧内は由布市商工観光課2023調べ）。由布院における⑤観光者の交通手段は、自家用車51%・JR21%・レンタカー14%の順で多い。

由布院における⑥観光者の行き先（複数回答）は、みやげ店67%・飲食店61%・雑貨店51%・宿泊先42%の順で多い。観光者は、由布院のみやげ店や飲食店まわる、食べ歩き（フードツーリズム）を楽しんでいた。食べ歩き（フードツーリズム）は、

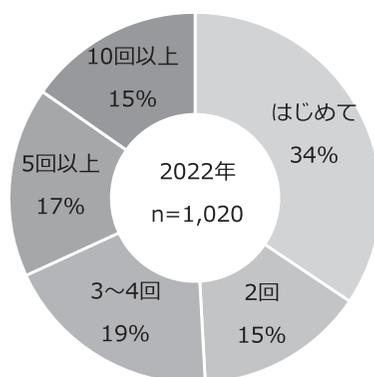
図7 観光者の年齢層（由布院・左；2005年・右；2022年）



注：図7の右図には「年齢」未回答者4組が含まれていない。

出所：協同組合地域づくり九州（2006・16頁・問9）と筆者ら実施によるアンケート調査の結果から作成。

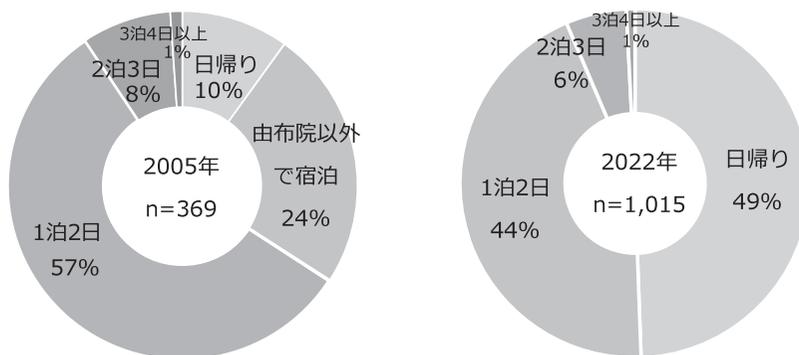
図8 観光者の観光回数（由布院・2022年）



注：図8には「観光回数」未回答者3組が含まれていない。

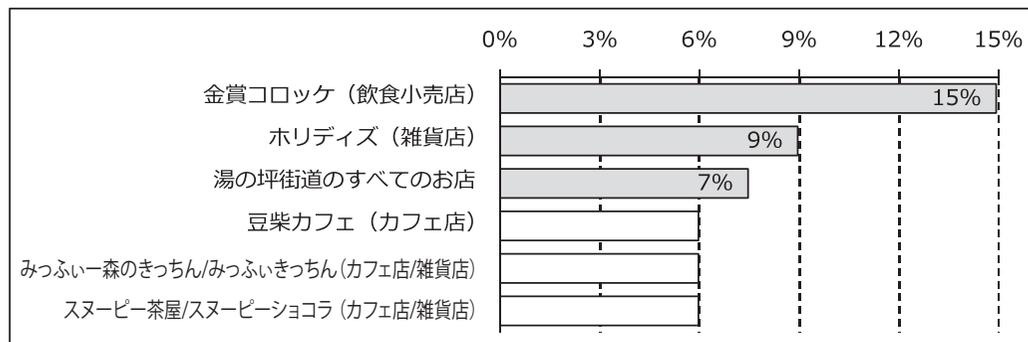
出所：筆者ら実施によるアンケート調査の結果から作成。

図9 観光者の行程（由布院・左；2005年・右；2022年）



注：図9の右図には「行程」未回答者8組が含まれていない。  
 出所：協同組合地域づくり九州（2006・17頁）と筆者ら実施によるアンケート調査の結果から作成。

図10 観光者のリピートしたい理由（由布院・2022年・複数回答・n=325）



注：図10には「観光者のリピートしたい理由」未回答者698組が含まれていない。  
 出所：筆者ら実施によるアンケート調査の結果から作成。

由布院観光のリピートしたい要因にもなっている（図10）。

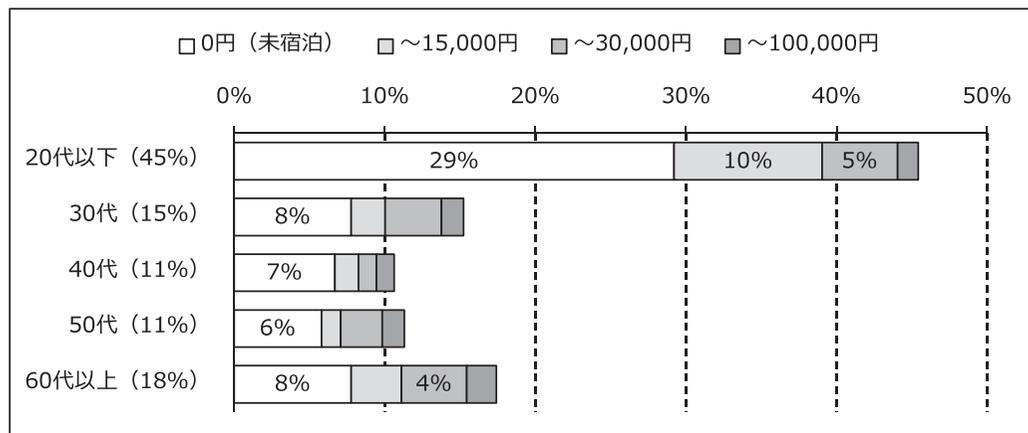
筆者ら実施によるアンケート調査の結果から、コロナ禍（2022年）の由布院における1人あたり観光消費額は、24,328円であった<sup>5)</sup>。由布院における2022年1人あたり観光消費額は、由布市商工観光課（2023・前掲の図6）4,720円よりも、筆者ら実施のアンケート調査のほうが、19,608円高かった<sup>6)</sup>。

5) 筆者ら実施のアンケート調査による、2022年1人あたり観光消費額24,328円の内訳は、飲食費3,248円、入浴費332円、おみやげ購入費2,540円、交通費8,535円、宿泊費9,674円であった。

6) 由布市商工観光課（2023）による、2022年1人あたり観光消費額4,720円は、由布院を含む由布市が対象であり、かつ由布市までの交通費が含まれていない（由布市内での交通費のみ集計している）。なお、同2023に、同4,720円の内訳は非公表であった。



図12 観光者の年齢別 1人あたり宿泊費（由布院・2022年・n=1,017）



注1：図12には「年齢」未回答者4組が含まれていない。

注2：1人あたり宿泊費100,001円以上の2組を外れ値として除外している。

出所：筆者ら実施によるアンケート調査の結果より作成。

## 5. 考察：どのように由布院観光での1人あたり観光消費額を増やしていくか

### 5.1. 体験つき宿泊プランの提供<sup>9)</sup>

由布院観光では、誰に・どのような観光を提供していくのか。4.2節で着目した20代以下（19歳から29歳）と50代以上（50歳から89歳）の宿泊層に、由布院での滞在時間を増やしてもらうには、由布院で楽しめる体験を売り込む必要がある<sup>10)</sup>。具体的には、宿泊料金に体験料金を割引価格で組み込み、コスパがよい体験を楽しんでもらう。宿泊料金に組み込む体験は、①旧由布院町内の自然を満喫できる観光辻馬車（1人2,200円・図13）、②小さい子どもからお年寄りまで楽しめる箸づくり（1膳2,530円）、③世界に1つだけの食器を作るろくろ体験（1個3,000円から）などが適している<sup>11)12)13)</sup>。これらの体験は、宿泊者自身が選択肢のなかから選ぶこ

9) 神田（2024）16-17頁を竹田再構成。

10) 「大分県内の観光消費額を考えた場合、体験を組み込み、客単価が上げれば、1日あたりの観光消費額も上がる」（水野2018・20頁を引用者要約・傍点引用者加筆）。

11) 観光辻馬車は、JR由布院駅を出発し、40分から50分かけてゆっくりと由布院の町を散策し、由布院駅へ戻る。詳しくは、由布市まちづくり観光局公式HP「観光辻馬車」（<https://yufu-tic.jp/shiori/445/>）を参照されたい。

12) 箸作りの所要時間は、約2時間。詳しくは、箸屋一膳本店公式HP「箸作り体験」（<https://www.848ichizen.com/experience.html>）を参照されたい。

13) JR由布院駅から徒歩5分にある陶器の湯布院とうきでは、陶器の購入と陶芸の体験ができる。詳しくは、湯布院とうき公式HP「陶芸体験」（<https://touki.main.jp/>）を参照されたい。

図13 由布院で運行している観光辻馬車



出所：2023年7月15日竹田撮影。

とができ、体験期限はチェックイン後3日間までとする。

## 5.2. ゆふいん温泉マップの提供<sup>14)</sup>

由布院観光では、誰に・どのような観光を提供していくのか。由布院の観光者は、飲食率が高い（83%・4.2節より）。しかし、由布院観光における日帰り者の温泉入湯率は、筆者ら実施のアンケート調査によれば、13%と低い。日帰り者に由布院でお金をより落としてもらうためには、気軽にゆっくり温泉を楽しむ仕組みづくりが必要である。

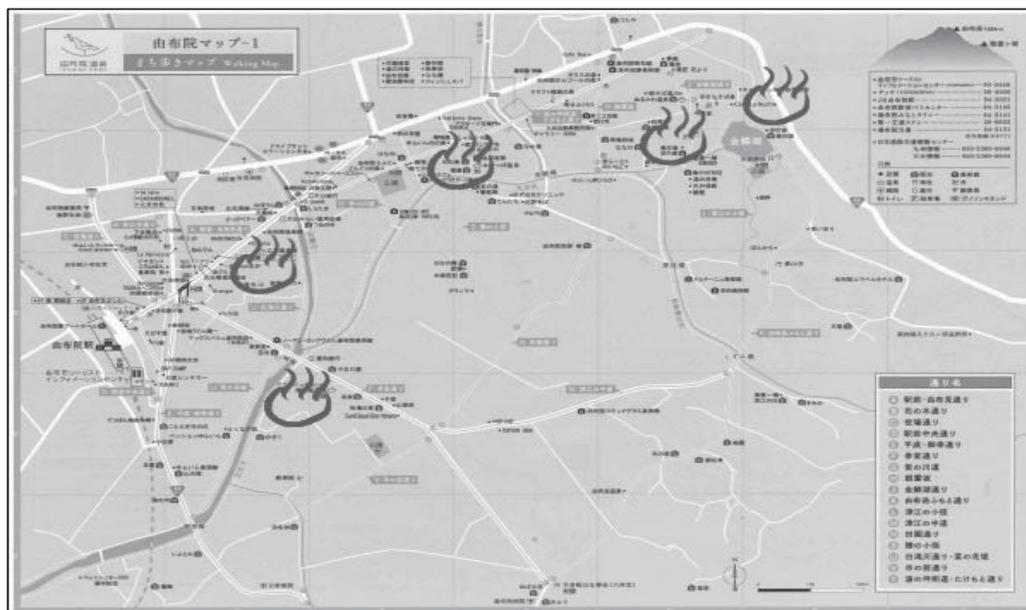
筆者らが考える温泉入湯の仕組みづくりとは、温泉施設のマップ「ゆふいん温泉マップ」作成である。一般社団法人湯布院温泉観光協会では、「由布院温泉まち歩きマップ」を配布している。同マップで、温泉施設の場所は探すことはできるが、それ以外の情報は無い。

「由布院温泉まち歩きマップ」（一般社団法人湯布院温泉観光協会）は、pdf版をweb公開している。しかし、筆者らが考える「ゆふいん温泉マップ」（図14）では、①温泉施設を大きな「♨」で図示し、②温泉の効能、③営業時間、④アメニティの有無、⑤見どころなどを記載したい。日帰り者は、20代以下（19歳から29歳）が多いことから、スマホアプリ化する。スマホのアプリであれば、筆者らが考える情報①～⑤も掲載できよう。

本章で検討した、体験つき宿泊プランの提供も、ゆふいん温泉マップの提供も、

14) 神田（2024）17-18頁を竹田再構成。

図14 温泉施設のマップ「ゆふいん温泉マップ」案



出所：「由布院温泉まち歩きマップ」（一般社団法人湯布院温泉観光協会）に「🔥」マークを神田加筆。

ガストロノミーツーリズムによって1人あたり観光消費額の増額を目指すものである<sup>15)16)</sup>。

## 6. 結論

なぜコロナ禍（COVID-19 pandemic；2020年～2022年）でも由布院に観光者が訪れるのか。本研究の目的は、コロナ禍（主に2022年）における由布院観光者の特性を検証することであった。

由布市の場合、COVID-19拡大前（2019年）と比べると、2022年現在、①観光者数332万人は2019年比75%まで回復、②宿泊率は38%まで上昇（2019年23%）、③外国人観光者率は3%まで下降（2019年15%）、④観光消費額156億円は2019年比97%

15) ガストロノミーツーリズムは、「観光客の体験・活動が、食や食材に関連付いていることを特徴とする。本格的、伝統的または革新的な料理体験と併せて、ガストロノミーツーリズムには地域の産地訪問、食に関するフェスティバルへの参加、料理教室への参加など、他の関連活動を含む場合もある」（国連世界観光機関事務局駐日事務所2021・8頁）。

16) 「地域の『食』の体験を目的としたフードツーリズムと、そのフードツーリズムを進化させることで生まれたのがガストロノミーツーリズム」（尾家ほか2023・3頁）である。

まで回復、⑤1人あたり観光消費額4,720円は2019年比130%まで増額していた（検証1の結果）。

由布院における観光者の年齢層は29歳以下が45%を占め、観光者のリピート率は66%であった。観光者の行き先（複数回答・みやげ店67%や飲食店61%）と飲食率83%から、観光者は、由布院のみやげ店や飲食店まわる、食べ歩き（フードツーリズム）を楽しんでいた（検証2の結果）。

由布院は、コロナ禍（2022年現在）で、外国人観光者が減り、日本人観光者の宿泊率が上昇していた。そこで、本研究では、日本人観光者向けの体験つき宿泊プランと温泉めぐりマップの改善案をあげ、ガストロノミーツーリズムを検討した（考察）。

COVID-19拡大の影響を受け、日本政府が外国人観光者の入国と日本人観光者の出国を制限したことやGo To トラベル事業（観光庁）などの成果によって、2022年現在、由布院では、COVID-19拡大前（2019年）から日本人の新規観光者と宿泊者の比率が上昇した。COVID-19収束後（2023年以降）、由布院でも観光者数が回復していけば、COVID-19拡大前（2019年）の水準まで、宿泊者が減っていく（日帰り者が増えていく）であろう。そうなれば、コロナ禍（2022年現在）で増額した1人あたり消費額4,720円（2019年比130%）もCOVID-19拡大前（2019年）と同額まで減額する。

COVID-19収束後（2023年以降）、由布院が観光で稼ぐためには、観光者数の回復や増数を目指すのではなく、「心が豊かになる」体験や「心が豊かになる」地域住民とのふれ合いによって、1人あたり観光消費額を増額していかなければならないと結論づける。

## 謝辞

インタビュー調査の回答とアンケート調査の実施にご協力いただいた生野敬嗣事務局長（一般社団法人由布市まちづくり観光局）と興梶太希主任（由布市商工観光課）、アンケート調査の準備にご協力いただいた麻生文香事務局員（一般社団法人由布院温泉観光協会）と後藤侑太郎主査（由布市都市景観推進課公園係）に感謝申し上げます（いずれも2022年度の職位と所属）。

アンケート調査の実施に携わった<sup>たずさ</sup>神田珠華（長崎県立大学地域創造学部2023年度4年生）と植松もも子（同2023年度4年生）の労をねぎらいたい（敬称略）。

## 参考文献

- ・石川修一（2007）「観光研究方法に関する考察：経済的側面について」、日本観光学会『日本観光学会誌』48、81-87頁。
- ・一色遥菜・石本めぐみほか（2013）「地産地消とそれを取り巻く地域のあり方：『食』を通したひとびとのつながり」、愛媛大学地域創成研究センター『地域創成研究年報』8、19-52頁。
- ・一般社団法人湯布院温泉観光協会「由布院温泉まち歩きマップ」（<https://www.yufuin.gr.jp/content/img/map/townwalk.pdf>）、2023年12月1日閲覧。
- ・植松もも子（2024）「コロナ禍における旧湯布院町観光に関する研究：なぜ旧湯布院町の宿泊業や飲食料点小売業は増加したのか」長崎県立大学地域創造学部2023年度卒業論文。
- ・浦達雄（1997）「由布院温泉の観光診断」、日本観光学会『日本観光学会誌』30、71-76頁。
- ・尾家建生・高田剛司・杉山尚美（2023）『ガストロノミーリズム：食文化と観光地域づくり』学芸出版社。
- ・大分県企画振興部統計調査課（2023a）「2020年度大分の市町村民経済計算」（<https://www.pref.oita.jp/site/toukei/shichosonmin.html>）、2024年1月26日閲覧。
- ・大分県企画振興部統計調査課（2023b）「市町村民経済計算の概念と用語解説」（<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2200238.pdf>）、2024年1月26日閲覧。
- ・大分県企画振興部統計調査課（2024）「大分県の人口推計結果の概要（2024年1月1日現在）」（<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2205657.pdf>）、2024年2月8日閲覧。
- ・大澤健・米田誠司（2019）『由布院モデル：地域特性を活かしたイノベーションによる観光戦略』学芸出版社。
- ・観光経済新聞社（2023a）「第37回にっぽんの温泉100選全ランキング」『観光経済新聞』2023年12月18日号7頁。
- ・観光経済新聞社（2023b）「第37回にっぽんの温泉100選全ランキングweb版」（[https://www.kankokeizai.com/index\\_100sen/](https://www.kankokeizai.com/index_100sen/)）、2024年1月28日閲覧。
- ・神田珠華（2024）「旧由布院町（湯の坪街道）の観光特性に関する研究：なぜコロナ禍でも旧由布院町（湯の坪街道）に観光客が訪れるのか」長崎県立大学地域創造学部2023年度卒業論文。

- ・協同組合地域づくり九州（2006）「観光環境容量・産業連関分析調査及び地域由来型観光モデル事業報告書（概要版）」由布院温泉観光協会。
- ・国連世界観光機関事務局駐日事務所（2021）「ガストロノミーツーリズム発展のためのガイドライン日本語版」（[https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2021/05/0512gastronomy\\_j\\_low.pdf](https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2021/05/0512gastronomy_j_low.pdf)）、2024年2月5日閲覧。
- ・国土交通省観光庁観光戦略課観光統計調査室（2023）「2023版観光白書について（概要版）」（<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001613735.pdf>）、2024年1月26日閲覧。
- ・小坂裕司2021『「顧客消滅」時代のマーケティング』PHP研究所。
- ・小堀貴亮（2000）「由布院温泉における芸術文化観光空間の形成と構造」、別府大学地域社会研究センター『地域社会研』3、20-33頁。
- ・鈴木孝弘（2020）「湯布院のオーバーツーリズムに対する持続可能なまちづくりに関する考察」、東洋大学経済研究会『経済論集』46(1)、1-14頁。
- ・内閣府まち・ひと・しごと創生本部事務局（2015）「地域経済分析システム（RE-SAS）」（<https://resas.go.jp/>）、2024年1月26日閲覧。
- ・別府市観光産業部観光課（2006：2023）「別府市観光動態要覧」別府市役所。
- ・水野宏美（2018）「観光消費の促進に向けた着眼点：日本銀行大分支店特別調査レポート」（[https://www3.boj.or.jp/oita/\\_userdata/download/spe\\_repo1810.pdf](https://www3.boj.or.jp/oita/_userdata/download/spe_repo1810.pdf)）、日本銀行大分支店、2024年1月29日閲覧。
- ・安田亘宏（2021）『新版インバウンド実務主任者認定試験公式テキスト』全日本情報学習振興協会。
- ・由布市商工観光課（2006：2023）「由布市観光動態調査」由布市役所。
- ・由布市総合政策課（2024）「由布市移住特設サイト：ゆっくり長く由布暮らし」（<https://yufu-iju.jp/charm/>）、2024年1月29日閲覧。
- ・米田誠司（2013）「スピンオフ事例からみる地域の観光経済振興について」、愛媛大学経済学会『愛媛経済論集』32(2/3)、105-117頁。